

NASA シンジケート & シーナ プロフィール

那須 尚平 (guitar)

バークリー音楽大学にて作・編曲を学ぶ。作編曲法をHerb Pomeroy、Greg Hopkins各氏に師事。その後、ボストンで演奏活動を行い帰国。現在は東北を中心に演奏活動を行っている。また自ら主宰する「那須尚平音楽理論研究会」(NAMML)にて、作編曲、理論講座の講師としても活躍中。

東北工業大学非常勤講師。聖和学園短期大学非常勤講師。Rhythm StationFM山形 Music Pickles(日曜18時～)パーソナリティー

榊原 光裕 (keyboard)

中学時代からバンド活動を開始、稲垣潤一、是川由美子等とともに、様々なステージで演奏。東北大学在学中に、岩渕亮、さとう宗幸のピアニストとして活動し、「青葉城恋唄」のレコーディングに参加。同大学卒業後、バークリー音楽大学に留学。那須尚平氏と出会う。同大学を首席卒業後、帰国し、仙台を拠点として音楽活動を開始。定禅寺ストリートジャズフェスティバルの創設、青葉まつり・新すずめ踊りや仙台木遣りの復活などのプロデュースも行い、本年、宮城県から観光功労賞、仙台市から市政功労章を授賞。

及川 文和 (drums)

仙台市出身。

中学から独学でドラムを始め、高校卒業後プロとして音楽活動を始め。

セッションドラマーとして多数のミュージシャンのライブ・レコーディングに参加。

現在はレコーディングスタジオを経営しながら東北を中心に音楽活動を行っている。

佐藤 弘基 (bass)

岩手県奥州市在住。大学在学中より見よう見まねでベースを弾き始める。その後、仙台を中心に演奏活動を始め、多くのミュージシャンと出会い、様々なスタイルの表現者と演奏する機会の中でベース弾きとしての貴重な経験を積む。岩手に戻ってからは兼業週末ベース弾きのスタンスで音楽活動を継続している。

シーナ (vocal)

山形北高の音楽科を卒業後、進学し声楽を学ぶ帰郷後いくつかの音楽活動を経て2003年よりヴォーカリストとしての活動を始め

JAZZ・POPS・J-POP GOSPEL・CLASSIC・・・と多彩な顔を持ち、演奏形態も多様
さまざまなミュージシャンを招いての『Jam Sheena / ジャムシーナ』LIVEを始め、イベント・パーティー・ブライダルなどでの演奏も行っている

自身の演奏活動のほか、講師としての活動も多く、各地でヴォーカルレッスンやヴォイストレーニングを行っている